

17 ヤマドリ

(キジ目)

Syrmaticus soemmerringii

兵庫県ランク: 注

繁殖個体群:注 越冬個体群:注 通過個体群:注

環境省ランク:

種の概要

日本固有種。本州、四国、九州にそれぞれ周年生息し繁殖する。キジとともに狩猟鳥の代表とされるが、近年減少傾向にある。山地の森林に生息する。繁殖期の雄は翼を震わせて「ドドド」という羽音を出す。森林の下生えのある沢筋を好み、草木の実や昆虫類、クモ類、ナメクジなどを採食する。秋から冬には群れとなることもある。



写真提供：梅津節雄

(性別：オス)

国内分布

北海道、本州

県内分布 ★…2013年以降生息が確認されている市町

★神戸市、★姫路市、洲本市、相生市、★豊岡市、赤穂市、西脇市、★宝塚市、★三木市、★川西市、小野市、★三田市、加西市、丹波篠山市、養父市、★丹波市、南あわじ市、★朝来市、★淡路市、★宍粟市、★加東市、たつの市、★猪名川町、★多可町、市川町、福崎町、★神河町、太子町、上郡町、★佐用町、★香美町、★新温泉町

主要な選定理由

影響の人為性					生態の脆弱性 (特殊性)			学術上の 希少性	
個体数激減	分布域激減	餌の可用性の低下	特殊競争圧	特殊捕食圧	特殊繁殖環境	特殊採餌環境	ねぐら休息環境・	局地的繁殖	希少
									○

県内における生息状況およびその他特記事項

ランク変更なし。

かつては県内各地の丘陵から山地の森林に普通に生息し繁殖していた。淡路島の個体群は1932-33年に宍粟市で捕獲された20-30羽が放鳥され定着したもの。1960年代に個体数・分布域とも減少した。最近はやや生息状況が安定していると考えられているが、単場所である森林の林床がシカに食害されるなど、繁殖活動への影響が懸念される。

保護上の留意点

生息環境である夏緑広葉樹林の保全が重要。狩猟圧をはじめシカの食害による林床の荒廃等も個体数減少の一因となるため、適切な狩猟のあり方の検討や生息域の鳥獣保護区の指定などが必要。